



東京六戸会会長
 高坂 忠

新年明けましておめでとうございます。東京六戸会および六戸町の皆様には晴れやかな新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

東京六戸会は今年で15年目を迎える事が出来ました。これもひとえに東京六戸会会員の皆様ならびに吉田町長をはじめ役場の方々、六戸町民の皆様方の温かいご支援とご協力によるものから心からお礼申し上げます。さて昨年は一昨年の東日本大震災からの復興が期待されましたがいまだ不十分であり、その上世界経済の減速、円高、尖閣諸島国有化に端を発する中国問題、原発の稼働停止によるエネルギー不足等の悪材料によ

り国内の景気は後退局面に入ったと言われています。雇用も悪化している事から、年末の衆議院議員選挙で新しく発足した新政権には景気好転の期待が大了。また新政権には10年、20年あるいは30年先の日本の将来像を示してほしいと思いません。

一方、明るい話題として7月のロンドンオリンピックの開催があります。女子サッカーのナデシコジャパン、女子レスリング、柔道、水泳、卓球、男子体操個人総合の内村選手の活躍など多くのメダル獲得で大いに盛り上がりました。

10月には京都大学山中伸弥教授の「iPS細胞」の発見に対してノーベル生理・医学賞の授与、と言う嬉しいニュースがあり、日本国民に大きな夢と希望を与えてくれました。再生医療を大きく推進させるものと期待されます。

また、大相撲で三役格行

司「木村庄三郎」としてご活躍されておりました、六戸町出身の畠山三郎さんが立行司第39代「式守伊之助」に昇進致しましたことは大きな喜びでした。

東京六戸会では例年4月に総会と懇親会を、秋に親睦行事を行ってきました。昨年は4月8日に48名の出席の下、横浜マリントワーで総会と懇親会を行い、11月18日には秋の親睦行事として「はとバスツアー」を計画し、楽しんでまいりました。

第15回総会は4月に開催する予定ですが、日時、場所、その他詳細については「広報ろくのへ」3月号の紙面をお借りし、「東京六戸会たより」にてお知らせいたします。

最後になりますが、今年も東京六戸会および六戸町の皆様にとりまして、良い年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。

東京六戸会会長 高坂 忠

(七百中 33年度卒)